

賛助会員加入と寄付金のお願い

- 賛助会員年会費 個人(1口) 3,000円(1口以上)
団体(1口) 10,000円(1口以上)
- 年会費・寄付金振込先
郵便振替口座番号:02200-9-110330
郵便振替口座名義:認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会
※他金融機関から、郵便振替の場合
店名 二二九(二ニキュウ)店 当座預金 0110330
(認定NPO法人ですので、税制優遇を受けることができます。
詳しくは事務局にお問い合わせください。)

募金箱設置のお願い

募金箱を設置
していただける所
を募集して
おります



ボランティア募集中!

- ボランティア体験
毎月第1土曜日
- ボランティア内容

お掃除、庭の手入れ、バザー、
クリスマスプレゼント作り、
パンダバッジ作りなど



利用された皆さんに
差し上げています

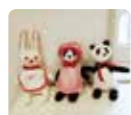
お問い合わせ 事務局
TEL・FAX 024-548-3711
E-mail office@pandahouse.org

スタッフ紹介

理事長	山本佳子	監事	齋藤敏昭
理事	安石伊勢	アドバイザー	藤田津地
	伊勢谷藤田		梅菊佐芳
	菊田関木		菊地藤賀
	古鈴鈴木		黒田文照
	鈴野高千	ハウスマネージャー	横田郁子
	清橋葉陽	相談員	目黒津萩森
	古子		原千香子

編集後記

猛暑の夏も過ぎようやく秋の風を感じるようになりました。
春に完成した新館も利用者さんに満足してもらえるように、これからも皆で頑張っていきます。今後とも皆様よろしくお願ひいたします。
編集担当:古関令子



ハウスのかわい
いおともだち



ボランティアの声

パンダハウスのボランティアについて

毎週月曜日の朝はハミング気分です。私のパンダハウスボランティアの日です。

もう十余年も通い、楽しくお手伝いさせていただいております。午前10時頃にハウスのスタッフの笑顔に迎えられハウスの状況を聞いて仕事の内容を確認します。

主にお掃除でトイレ、浴室、個室、リビングやダイニングルームを担当します。ベッドメイキングは2人一組で声をかけ合って能率よく行います。

午前11時半頃には全部終了。私たち3人時にはスタッフの方も交えて休息。種々の話題で花が咲き、とても和やかです。利用者さんの声や「海外からの方も元気に帰られましたよ。」などと知られたりすると自分もほっとしたうれしさが込み上げてきます。本当によかった。やっぱり私も、少しは役に立っているのだと、ちよつとばかり自負してしまいます。

日本はもとよりグローバルに活用されているこのパンダハウスで利用者さんとお会いすることはほとんどありませんが、清潔にしてあれば利用して下さる方も私たちもとても気持ちよく、お手伝いする喜びを見出し長続きしているのではないかと考えております。

ボランティアの内容は掃除のほかに庭の手入れ、バザーの手伝い、クリスマスプレゼント作りなどがありそのつど都合をつけて参加しております。その時々スタッフの方々と私たちボランティアの出会いはいつも雰囲気良く私たちが3人「ハンドルを握れる限りパンダハウスに来ようね。」を合言葉にお手伝いをさせていただいているところです。



(平久井 信子)

30年度活動紹介



いわきイベント
~子どもが安心してくらせる地域をめざして~



医療センターバザー



医大バザー



クリスマスプレゼント作り開始



リレーフォーライフ



羽鳥湖バザー

31年度活動紹介(予定)

- 「慢性疾患をもつ子どもと家族を地域全体で支援するために」と題し講演会 H30年10月13日(コラッセふくしま)
- 第19回JHHHネットワーク会議in福島 H30年10月14日(コラッセふくしま)
- バザー(会津医療センター) H30年10月27日
- 第8回通常総会 H30年11月
- バザー(福島医大病院) H30年12月



病と闘う子どもと家族のサポートハウス

パンダハウス

News Letter

発行 認定特定非営利活動法人
パンダハウスを育てる会 事務局
TEL&FAX 024-548-3711
〒960-8157 福島県福島市蓬萊町八丁目15番地1
E-mail office@pandahouse.org
HP http://pandahouse.org
blog http://pandahouse.sblo.jp
facebook https://facebook.com/np.o.panda.house

2018年10月 VOL.7

理事長あいさつ

理事長 山本佳子

2018年4月21日、すがすがしい青空に色とりどりの風船がハウスを飾る中、新たなパンダハウスのオープンニングセレモニーを無事に開催することができました。

長期利用の方にも利用していただきやすいようにと、7室に増室されたパンダハウスもほとんど埋まってしまうような状態で、皆様にご活用いただきうれしき限りです。

さらにハウスの持つ新機能「交流の場」としての「みんなのほーる」も利用開始となり家族会や当事者会の方が、会合や、お楽しみイベント(料理・手作りハンコ作成体験)でご利用して頂き、おいしいにおいや笑い声などホールいっぱい響きわたっています。

また、福島県立医科大学附属病院と協定を結んで派遣している相談員も、小児の療養支援に関する相談やケース会議等に

参加するなど、活動させていただいております。

10月13日には、「小児慢性特定疾病児自立支援事業」において全国の動向を把握され、自らもNPO法人の長として実践していらっしゃる愛媛大学大学院医学系研究科地域小児・周産期学講座教授の檜垣高史先生にお越しいただき、先駆的なご講演をいただけることとなりました。

さらに10月14日には、なんとこの福島県のパンダハウスが主催となり全国のホスピタル・ホスピタリティ・ハウスの運営者たちが集まる、JHHH(日本ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス)ネットワーク会議を開催することになります。前日の檜垣先生のご講演に関連し、厚生労働省健康局難病支援課の谷口顕様様に国の方針についてお話しいただけることにもなりました。

皆様に支えていただきながらここまでできたパンダハウスの理念である「第2の我が家」つくりと、「療養生活にとめない生じる様々な心配ごとに対応できる相談室」のシステムを、次世代に残すために今後とも頑張っていく所存です。

どうぞ、あたたかくお見守りいただきますよう、よろしくお願いいたします。

オープニングセレモニー 新館が完成しました ~子どもたちをさらに支えるために~



2018年4月21日(土) 13:30~16:00



2018年4月21日多くの子どもたちや支援者の皆様に新たなパンダハウスの門出を見守っていただきました。



みんなのほーる

居室(ゆうゆう)



パンダハウスを育てる会の皆様へ



公立大学法人福島県立医科大学附属病院
副院長兼看護部長 目黒 文子

パンダハウスを育てる会の皆様、この度は「新生パンダハウス」の完成おめでとうございます。内覧会に参加させていただき、あたたかな

雰囲気の心と空間となっており、大変感激いたしました。これもひとえに、日頃からの皆様のご尽力のたまものと感謝いたしております。

パンダハウスがオープンした1997年、私は小児科で勤務していました。その頃の小児科の治療は、長期間の入院を要し、ほとんどの子どもたちには母親が付き添いをしていました。そのことで、入院している子どもたちは、母親を独占せざるを得ない状況となり、兄弟たちは我慢を強いられていました。また、入院中の子どもたちは、病棟の外になかなか出ていけない状況で、ストレスが高くなることも多々ありました。

そのような中で、パンダハウスがオープンし、利用する家族が増えていくと、それぞれの家族の表情や態度が前向きに変化していく様子が見て取れました。家族で過ごす時間の大切さ、安心感がもたらす治療への効果、また、子どもたちの健やかな成長には欠かせない時間であることを実感することができました。

あれから約20年が経過し、全国から、そして海外からも当院へ治療のため入院している子どもたちが増えてきています。なかなか、3部屋では希望者全員に対応することが困難な時期が長く続きましたが、今回、部屋数も3部屋から7部屋へと増設され、これまで満室で使用できなかった家族も激減しているのではないかと思います。パンダハウスで、家族で過ごす時間はきっと、それぞれの家族にとって、きつとかけがえのない時間となっていると思います。

これからも、パンダハウスが多くの子どもたちやその家族のために心温まる空間となり、かけがえのない時間を過ごすことができますよう、皆様のご支援を頂きますことを何卒よろしくお願い申し上げます。

みんなのほーる と パンダハウス 相談室

今年4月にハウスのリニューアルが完了し、「新生パンダハウス」として出発しました。新しいハウスには、「みんなのほーる」というキッチン付きの多目的ホールと個室の「相談室」があります。

福島県心臓病の子どもを守る会、福島心臓病者友の会の皆さまに、定期総会や印鑑作り、キッチンを利用して夏野菜たっぷりのカレー作りに利用していただきました。定期総会の際には、ハウスを見学していただきました。相談事業については、具体的にどのような相談を受けてもらえるのかなど、積極的に質問をいただきました。

「みんなのほーる」は、病気の経験をもつお子さまや家族会の方の利用が可能です。また、プライバシーに配慮してお話を伺える個室の相談室にて、専門の相談員が社会資源の紹介や就学・就労に関することなど、お子さまの成長に伴って生じる悩みを解決できるようお手伝いします。

悩みごとがある場合や、「みんなのほーる」のご利用を希望される方は、パンダハウスまでご相談ください。電話やホームページ(メール)からご連絡いただけます。



おいしいカレーができました



印鑑づくりはむずかしい!!



相談室

利用者の声

お子様からもハウスへのあたたかいお言葉をいただきました

パンダハウスを支えてくださる皆様、いつもお世話になっております。

今年3月に退院してから毎月利用させて頂いています。

遠方からの通院なので、来るだけでも本当に一苦労でしんどい思いをしていましたが、こちらの存在を教えていただき、利用させていただく度に、あたたかく細かいお心遣いにホッとしたり、時に励まされたりしています。

本当にありがとうございます。

施設内の細部にいたる心配りはもちろんのこと、外の花壇の毎月来るたびにかわいく咲いているお花たちにもいつもいやされています。

皆様もお体ご自愛下さい。これからもよろしくお願い致します。

ここはうつくしくてもちい
です。ここはめったにないぐ
らいきれいです。
泊めていただき、ありがとうございました。
とても助かりました。

約一年半前病気を発症してから、パンダハウスさんには半年という長い期間利用させて頂いて、お陰様で再発もなく以前の日常生活を取り戻して来ています。約一年近く悩まされてきた気管切開の穴も、今回の治療で完治する事が出来ると願っています。

前回の入院の時も、我が家に帰って来たようなホッと出来る時間を過ごす事が、長期入院の支えになっていました。

今回の入院も、パンダハウスさんで長期利用が出来た事で安心して付き添い出来ました。あと数日利用させて頂きます。宜しくお願いします。

生後3度の、術後16年振りの移植を含む入院でした。

当時このパンダハウスを利用させて頂いた時はできたばかり、小さな兄弟もかえ通院(付き添い)に不安でいたところこちらの紹介を受けました。

主人・祖母へ留守を託し、娘へ付き添い、間に利用させて頂いているハウスへ訪ねて来た子どもたちに会いに戻り顔を見てホッとする。そんな時間でした…。

今回、新しくなったハウスへ訪ね、利用させて頂きこれまでの娘の、兄弟の、私たち夫婦のそれぞれ乗り越えてきたことを思い出しました。私にとってこちらは娘を育てる上での思い出の場所です。安らぎ・活力!変わらないスタッフの方々、お心くばり感謝です♡

「いってらっしゃい」にありがとう♡

「いってらっしゃい」の言葉でいつも背中を押され「頑張って」と感じながら娘の元へ向かう時間でした。

ハウスでこのように過ごしています



子どもをとおして、おとうさん同士もコミュニケーションをとる場になってます



天気がいいのでおとうさんと自転車で散歩にでかけるところです



外泊許可がでると、みんなのへやで子どもたちやおとうさんたちも一緒に遊んで過ごします

許可をいただい、掲載しております